

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 平成23年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
流砂モニタリングに基づく流出土砂の管理に関する研究(研究期間:H23年~H25年)	京都大学農学研究科 教授 水山 高久	B
<p><研究概要> 流砂をモニタリングし、その情報に基づいて流出土砂を積極的に管理するシステムを目指した。具体的には、常願寺川の本川の4堰堤と、支川に設置した、水位計、濁度計、ハイドロフォン、ピット流砂計測装置により流量、流砂をモニタリングし、降雨と流量、流量と流砂量との時間的、空間的關係を分析した。これを基礎資料として、スリット砂防堰堤をシャッター砂防堰堤に改造した妙寿砂防堰堤を対象に、シャッター砂防堰堤の運用について検討した。その間に、鉄砲水が発生し、流砂観測システムで観測された。そのほか、ハイドロフォンのキャリブレーション、濁度の流出特性が把握された。</p>		
<p>本研究では、水位、濁度、ハイドロフォン、ピット流砂計測装置により流量、流砂をモニタリングし、降雨と流量、流量と流砂量との時間的、空間的關係を分析し、その分析結果を基礎資料として、スリット型砂防堰堤をシャッター砂防堰堤に改造する新型砂防堰堤の開発を提示しており、流砂モニタリング体制、流域土砂管理体制の整備強化が期待できるものである。</p> <p>今後、シャッター砂防堰堤の現場における試験運用による更なる効果検証が必要である。引き続き、シャッター砂防堰堤の実用化に向けて検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い